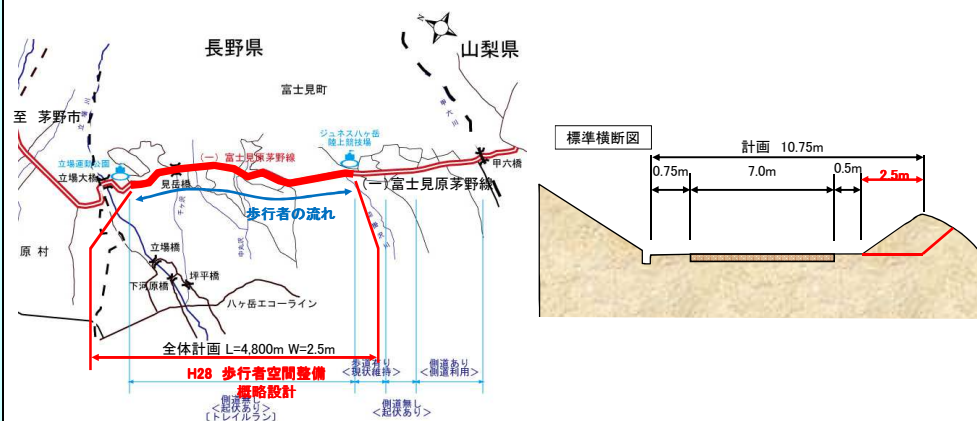


(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		県単交通安全施設等整備		路河川名等	(一)富士見原茅野線		
事業毎の通番		2	市町村名	富士見町	箇所名(ふりがな)	広原(ひろはら)	
事業概要	事業目的	当該道路は、八ヶ岳山麓に位置する観光道路であり、周辺には別荘地や運動施設が存在する。特に春から秋にかけて、歩行者の利用が多い。富士見町は、道路周辺施設を用いた高地トレーニングを誘致することや、高原全体の価値を向上させ、観光誘致することを構想としている。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第1章 1-2 強みを活かした観光の振興 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画 交通安全施設等整備事業に関する法律			
	関連する事業、計画等	歩こう！走ろう！観光地の歩道グレードアッププラン					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	ジュネス八ヶ岳、立場運動公園 利用者 他 現況自動車交通量:2,932台/日、現況交通量(歩行者・自転車)54人/12h					
	着手年度	平成28年度	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	—	国庫	その他	県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=4,800m W=2.5m			100,000		82,000 18,000
年度事業内容(主な工種)	歩道概略設計 1式			2,500		2,100 400	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特にジョキング者の交通事故の減少が期待される。					
	間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制 高原全体の価値を向上、観光客の増加					
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量:2,932台/日 ○現況自転車歩行者交通量:現況交通量(歩行者・自転車)54人/12h				評価	B
	重要性	○関連計画、重点施策との整合:八ヶ岳観光圏整備計画、歩こう！走ろう！観光地の歩道グレードアッププラン ○緊急輸送道路の路線指定:指定なし				評価	B
	効率性	○事業期間:8年間(H28~H35)				評価	C
	緊急性	○近年の交通事故件数:1件 ○通学路対策:通学路指定なし ○現況の歩道幅員:歩道なし				評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に周知(H25.7富士見町協議) ○地域の取り組み:協力的である ○地域の合意形成:事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働:ジュネス体育館は指定避難所				評価	A
	部意見	観光地における路線であるものの歩道が未整備のため、観光客が安全に歩行やランニングする空間を確保するための歩道整備が必要である。	行政改革課意見	ジョギングロードになっているが歩道が未整備であることから、必要性、重要性、緊急性は認められる。	評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該道路は、別名鉢巻道路と呼ばれる八ヶ岳山麓に位置する観光道路であり、周辺には別荘地や運動施設が存在する。特に春から秋にかけて、歩行者の利用が多い。富士見町は、道路周辺施設を用いた高地トレーニングを誘致することや、高原全体の価値を向上させ、観光誘致することを構想としている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本路線は、ジュネス八ヶ岳陸上競技場と立場運動公園を結ぶジョギングロードとなっている。	
③事業説明等の経緯	H21.8月 八ヶ岳観光圏整備推進協議会発足。 H25.7月 富士見町と協議。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	八ヶ岳観光圏整備推進協議会 歩こう！走ろう！観光地の歩道グレードアッププラン	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	別荘地及び高原の景観を損ねない修景について検討する。	
⑥地域活性化への影響と配慮	安全で快適な歩道空間の整備により高地である特徴を活かした沿道の活性化が図られる。	
⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 56' 32" 東経:E 138° 17' 26"